

9月			
定	例	会	の
あ	ら	ま	し

GIGAスクール 全小中学校児童・生徒に 一人1台タブレット配備

会期
9月1日から28日まで

議案

- ・財政健全化判断比率の報告1件
 - ・幸田町固定資産評価審査委員会の委員の選任1件
 - ・幸田町一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の制定についてなど単行議案6件
 - ・補正予算関係4件
 - ・令和元年度決算認定9会計
- 以上は、全て同意・可決・認定した。

陳情

1件を審議し、採択とした。

議員提出議案

1件を全員賛成で可決した。

一般質問

8人の議員が、町政全般にわたる課題をたじた。



学校における一人1台の端末を配備
(文科省、GIGAスクール構想公式プロモーション動画より)

財産の取得(GIGAスクールPCの購入)

* GIGAスクール構想の、ICTを活用した学習環境の整備として、小学校5・6年生、中学1年生を対象に、一人1台のタブレット端末を配備する。

契約方法
8社の指名競争入札契約の相手方
有限会社東京理科器
契約金額
1億3739万円

概要
iPad (アイパッド) 1680台(小5・6年・中1年用、教員用)

納期
令和3年3月19日まで

問 購入後の機器の保証・メンテナンスで、落札業者で問題はないか。

答 これまで、幸田町でICTで実績がある業者であり、問題ない。

問 タブレット端末の使われ方は。

答 同じタブレットを卒業まで、6年間連続で使うかどうか、今後検討する。保管方法は、学校のクラスごとに、学校の保管庫で管理する。(全員賛成で可決)

* GIGAスクール構想とは、高速大容量の通信ネットワークの整備および一人1台の端末を配備することで、個別最適化された学びの実現を目指すもの。

* ICTとは、通信技術を活用したコミュニケーションを意味する。



導入予定のタブレット端末

一般職の任期付職員採用の条例制定

一般職の任期付職員とは、5年以内の任期で、本格的業務に従事する職員のことである。任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例を制定する。

問 幸田町で任期付職員の必要性は。

答 近年になって、高度な知識、経験を有した、本格的な業務のできる職員が、必要になってきた。

問 任期付職員として、どんな職種を想定しているか。

答 特定任期付職員では弁護士、フルタイム任期付職員では一般事務の職員、保健師を想定している。

問 選考の方法は。

答 面接、論文などにより選考する。(全員賛成で可決)

工事の請負契約 (屋内プール構造部 材補強工事)

契約方法

10社の指名競争入札
契約の相手方
佐々木建設株式会社

契約金額

1億3420万円

工期

令和3年3月19日まで

町民プールの老朽化が進み、天井部は耐震構造上問題があるので、改修工事を行う。

問 工事内容に、天井落下の再発防止策は盛り込まれているのか。

答 工事内容には盛り込まれないが、定期的な点検で、再発防止に対処する。(全員賛成で可決)



改修工事予定の町民屋内プール

幸田町職員の特殊勤務手当 に関する条例の一部改正

幸田町の職員が、新型コロナウイルス感染症から生命および健康を保護するために、緊急に関わる作業で、防疫作業手当を支給する。手当は1日につき3000円、感染症の患者の身体に直接接触する作業では4000円。

問 対象となる職種は。

答 主に消防本部による救急搬送に従事した職員。

問 防疫作業手当額の根拠は。

答 国の基準に従った金額。

問 幸田町では、該当する人を何人搬送したか。

答 5件、10人を搬送。(全員賛成で可決)

人事案件

固定資産評価審査委員の選任

加藤 晃 氏(須美区)
(全員賛成で同意)

議員提出議案

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書。
(全員賛成で可決)

一般会計補正予算

第3次新型コロナウイルス対策など

4億4229万円追加

歳入(主なもの)

公立学校情報機器整備費補助金 8577万円

財政調整基金繰入金 9736万円

前年度繰越金 2億4179万円

歳出(主なもの)

三ヶ根駅エリアスタンプラリー事業 439万円

三ヶ根駅エリアの歴史的施設への訪問を、喚起するためのスタンプラリー事業。施設または飲食店の料金割引券を、参加者へ配布するもの。

問 なぜ新型コロナウイルス対策なのか。

答 スタンプラリーによるウォーキングで体の免疫力を養い、三ヶ根地区歴史施設探訪による、心の健康が期待できる。

問 三ヶ根駅エリアに限定した理由は。

答 三ヶ根駅エリアに限定した理由は。

医療機関への支援

5000万円

新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている、藤田医科大学岡崎医療センターへ支援する。

問 経営への影響はどれくらいあるのか。

答 赤字額は、4月から7月累計で10数億円に上る。

問 支援金5000万円の根拠は。

答 具体的な根拠はないが、病院が苦しんでいる時こそ、本町でできる範囲の支援を行う。

問 岡崎市とは協議をしているのか。

答 岡崎市へは報告をして、了解をもらっている。

問 今後、支援はどう進めていくのか。

答 しっかりと調整をし、説明をして、町民の福祉に役立つ施策ということが伝わるよう、スピード感をもってやっていきたい。

問 町内の医療機関への支援は。

答 岡崎市医師会、県医師会との調整をして、ぜひやっていきたい。

修学旅行キャンセル料補助

1000万円

修学旅行を中止・延期などすることした場合の、キャンセル料を負担する。対象は町内小学校6年生および中学校3年生の保護者。

問 キャンセル料に自己負担分はあるのか。

答 キャンセル料は全額町費負担で考えている。誤解を招かないよう、今後保護者に説明する予定。

問 GIGAスクール購入2億9100万円

ICTを活用した学習環境の整備として、小学1~4年生、中学2~3年生を対象に、一人一台のタブレット端末を配備する。計2910台。

これで、町内の全小中学生に配備されることになる。

小規模店舗等家賃支援補助金 1000万円

家賃・地代を支払っている町内業者などへ、負担軽減を目的に1件当たり10万円の補助金を支給する。

対象は町内に住所登録がある中小企業者、個人事業者の店舗など。国の補助に上乗せする。

(全員賛成で可決)



支援する藤田医科大学岡崎医療センター